

中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会

中野島多世代 つながり愛フォーラム

開催しました！

～多世代つながり合い、支え合えるまちづくりを考えよう～

あいさつでつながる心 咲く笑顔



ロゴマークは地域の小学生、
標語は中学生が考案しました



令和2年(2020年)

2月22日(土)

14:00～16:00 / 中野島会館

このフォーラムは、いつまでも愛着を持って住み続けたい中野島を目指して、これからの地域を考える地域住民主体のイベントです。今年で3回目となるフォーラムには55名が参加しました。

「中野島多世代つながり愛プロジェクト」とは？

中野島で、「子どもの健やかな成長の喜びを全ての世代が共有できるまち」という目標のもと、中野島地域の皆様方と協議会を構成し、あいさつ運動や多世代の交流の場づくり等の活動を通じて中野島への愛着を育むプロジェクトです。

プロジェクトの要となっているのが、「中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会」です。町内会・自治会、民生委員児童委員、地区社協、地域包括支援センター、学校、保育園といった、地域の様々な20団体で成り立っています。



<当日プログラム>

- 3団体による活動紹介
→概要は裏面をご覧ください。
- 休憩・交流
- 講話



講話

東京都健康長寿医療センター研究所
非常勤研究員 根本 裕太 先生

【テーマ】地域で進める重層的なつながりづくり
～点から面へ活動を広げる～

地域活動をしている方は健康で、認知症になりにくいことが多くのデータで示されています。また、活動が継続されると団体や人同士のつながりが広がり、直接活動に関わっていない方でも、地域に対する信頼性が高まり、心の健康度が高くなることが分かっています。地域活動は自身の健康だけでなく、地域住民全体の健康づくりへの貢献にもつながります。皆様ぜひ活動に参加し、長く続けてください。

そして、多世代交流があると健康度はさらに高まります。現在の活動に多世代の視点(多世代アプローチ)を取り入れると、多世代の様々な意見によって効果的な活動ができたり、円滑な世代交代による団体の持続可能性が確保できたり等様々な利点があります。

中野島には、多世代交流による地域づくりを進めるための「中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会」があります。高齢者から子どもまで、普段は違う分野で活動されている団体が参加して、中野島地区での多世代交流を進めてきました。今後も、中野島地区の多くの方に活動を知ってもらい、多世代がつながり、支え合う地域づくりを進めていきましょう。

休憩時にはアットホームな雰囲気の中、参加者同士の交流を深めました。



中野島多世代つながり愛プロジェクトから生まれた「まちプロ中野島」による出張版中野島ファミリーカフェが開かれ、多摩川あゆ工房とカリタス学園「アンジェラスの会」のコラボクッキーが提供されました。

交流の後には中野島出身で、19歳のお笑いコンビ「サイダー」による漫才が大いに会場を沸かせました。



<令和2年3月発行>中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会・多摩区役所地域みまもり支援センター

【お問い合わせ先】多摩区役所地域みまもり支援センター 地域ケア推進課 電話:044-935-3241/FAX:044-935-3276

3団体による活動紹介

子育て支援・健康づくり・高齢者福祉の分野で活躍している、地域の3つの団体が日頃の活動を紹介しました。

NPO法人 ままとんきっず

1

1993年に母親5名で地域子育て情報誌を発行したことから始まり、現在は正会員52名、賛助会員10名、利用会員が約100名で、子育て支援を目的に年間約20事業を実施し、年間で約20,000名が利用しています。布田にある事務所では、子育てサロンやグループ保育、一時預かり等を行っています。また、出張保育や「ままとんきっず通信」の隔月発行、市内の小中学校で妊婦体験・赤ちゃんふれあい体験ができる「いのちの授業」も実施しています。市や区の事業も受託し、子育て情報ブックの編集や子育て支援者養成講座、地域の寺子屋事業、4つの地域子育て支援センターの運営等もしています。

中野島地域には子育て支援団体がたくさんあるので、昨年8月には団体同士で情報交換して助け合う「なかのしま子ども応援ネットワーク」を立ち上げました。地域、団体、行政、皆さんと手を携えて子育て支援活動を続けていきます。



NPO法人 中野島総合型スポーツクラブ ビルネ

2

中野島中学校区を拠点として2008年に設立された、地域住民が会員となって自主的に運営する、多種目・多世代・多志向の総合型地域スポーツクラブです。チアリーディングや体操等の子ども向け教室、スポーツウェルネス吹矢・卓球・太極拳等の全年齢向け活動があり、幼児から高齢者まで、多世代が10種類のスポーツを行っています。

「ビルネ」はスポーツクラブ発祥地ドイツの言葉で梨を意味します。多摩川梨のように地域の人々に親しまれながら、スポーツを通して地域のコミュニケーションを図り、元気で活力のあるまちづくりを目指して名付けました。中野島駅の掲示板に毎月プログラムを掲載しており、ホームページやFacebookもあるのでぜひご覧ください。多摩区スポーツフェスタへの参加や年1回の無料開放も行っていますので、興味のある方はお気軽にご参加ください。



多摩川の里地域包括支援センター

3

地域包括支援センターとは、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で元気に暮らし続けることができるように、市から委託を受けた公的な相談機関で、医療職と福祉職の職員が配置されています。

担当圏域は布田・中野島・生田1～3丁目で、相談員は6名おり、一人暮らしの不安や消費者被害の防止等、介護に限らず幅広く相談を受けています。平成30年度は837件の相談がありました。介護保険や安否関連の相談が多く、認知症の相談も増えています。いこい元気広場やミニデイたんぼぼ、会食会、公園体操、カフェ等、介護保険外でも参加可能な場所の紹介もしており、中野島クラブ（介護者教室）、多摩川健康ウォーキング、認知症介護者教室、男性介護者の会も開催しています。

一人暮らし高齢者の社会参加や見守りの必要な方への支援、地域の情報収集と発信等の地域課題の解決に今後も取り組んでいきます。

